

# 2019.11.15 The Dutch Approach

オランダの共有文化遺産プログラムの一環で、日本の関連遺産を撮影に訪れているオランダ人写真家クラメル氏を迎えたレクチャー企画です。クラメル氏は建築物専門の写真家で、現在、日本、スリナム、ロシア、アメリカ、ブラジルなど、世界中に残っているオランダ人土木技師が関わった水関連事業（港、河川、橋、水道など）の建築物を写真に残すプロジェクトに取り組んでいます。日本では、明治期にオランダからお雇い外国人としてヨハネス・テ・レーケなどの土木技師が来日し、長年土木事業に従事して、日本の近代化に貢献しました。彼らが携わった治水事業（木曾三川改修、淀川改修など）の遺構が日本各地に残っています。

第1部では、クラメル氏がオランダ、日本、スリナムなどで撮影した水運・治水関連の建築物の写真を紹介しながら、それらの比較や時代的な変容についてお話しいたします。

第2部では『自然と対話する都市へ：オランダの河川改修に学ぶ』著者、立命館大学武田史朗氏と国土技術政策総合研究所岩本一将氏とのクロストークを開催します（英語によるレクチャーになります）。

日時：2019年11月15日（金）18:45 開場

第1部 19:00～19:40 クラメル氏レクチャー

第2部 19:45～20:45 クラメル氏 × 武田史朗氏 × 岩本一将氏によるクロストーク  
（終了後、懇親会～21:45）

会場：カフェ 翹中（東京都文京区本郷 2-35-10 本郷瀬川ビル 1F）

定員：50名（要申込）

参加費：学生無料、社会人 2,500 円（懇親会費含む）

## Lecture 19:00-19:40



Luuk Kramer

### The Dutch Approach

The ancestors of the Dutch lived in the Rine-Maas delta, which is nowadays known as The Netherlands. It was land, soaking wet. They decided to make constructions to regulate the water, and to reclaim land. To do this, everyone had to work together, the landlords and the peasants. This was the start and invention of the first democratic institution, called Waterschappen, where every man had one vote. Because of this egalitarian society, people had the possibilities to invent new solutions for watermanagement.

The lecture will show the development and inventive solutions in The Netherlands of Waterworks, as well as the work they did in Japan when they were invited by the Emperor to solve water problems here.

## Cross Talk 19:45-20:45



Shiro Takeda  
武田 史朗

立命館大学理工学部建築都市デザイン学科 教授  
東京生まれ。1995年東京大学卒業、2002年ハーバード大学大学院修了（2000～2001年文化庁在外芸術家派遣研修員）、2007年大阪府立大学生命環境科学研究科博士課程修了。内井昭蔵建築設計事務所、オンサイト計画設計事務所、ハーグレイブス・アソシエイツ（米）での建築とランドスケープの設計実務を経て、立命館大学理工学部准教授、武田計画室（ランドスケープ | 建築）代表。博士（緑地環境科学）、一級建築士、（一社）ランドスケープアーキテクト連盟客員会員。著書に『自然と対話する都市へオランダの河川改修に学ぶ』。



Kazumasa Iwamoto  
岩本 一将

国土交通省 国土技術政策総合研究所 研究官  
1990 年生まれ。2013 年岐阜大学卒業。2019 年京都大学大学院博士後期課程修了。京都大学在学中にデルフト工科大学（TU Delft）客員研究員、日本学術振興会特別研究員を経て、工学博士取得後、2019 年より現職。専門は土木史、都市計画史、歴史まちづくり。

— 終了後、同会場にてささやかな懇親会を予定しています。ぜひご参加ください。—

主催：NPO 法人 GS デザイン会議 | 協力：日蘭建築文化協会 | 後援：オランダ王国大使館



参加申し込みフォーム